

深大寺・佐須のいいところ ③

10/29 調布そぞろ歩き～水辺・歴史編より

深大寺周辺は調布の中でも最も水と緑に恵まれたすばらしい所です。それは武蔵野段丘と立川段丘の落差にできた崖からの湧水があたりを潤し、また斜面であるため開発がされてこなかったからです。29日の「そぞろ歩き」は国分寺から世田谷へと続くこの崖線の地形を頭に入れながら深大寺南側の暮らしのようすを見て歩きました。深大寺山門に集合 深沙大王堂裏湧水 内田邸 水車館 不動の滝 深大寺城址 青渭神社のコースです。ご案内役は、調布市環境モニターの皆さんです。

深大寺山門に十数名が集合



貴重な茅葺き屋根が残るお宅

100年ほど前(明治中期)当家と縁故関係にあった大工によって建てられた家。屋根は昭和51年に葺き替えたそうで当時富士山の裾野まで茅刈りに行き、莫大な費用がかかったとのこと。ご主人によると現在は囲炉裏で火を焚くことがなくなったので、その寿命は30年位ではないかということだった。



戦前までは純農家で昭和15年頃まで養蚕も盛んにやっていたという。お母屋が東向きに建てられているのは「蚕に日当たりが良過ぎないように」という大工の配慮かららしい。

現在は応接間となっている土間で当家のご主人に昔の様子を聞き一同感心することしきり。

2階の蚕室に上がるための天井裏の様子



不動の滝 (写真上) 滝の水源(写真下)



◀ 多聞院橋

不動堂の滝の東隣、足元に「多聞院ばし」と刻まれた石橋がある。昭和30年代までは蛍が飛び交っていた所だという。多聞院は深大寺小学校発祥の地。

この脇の階段を上って青渭神社に向かう途中、大欒の枯れた株があった。これが多聞欒(以前は調布市の天然記念物)と言われていたものだろうか。

大正時代までは行者がここで滝に打たれ修行したという。「東京の名水57選」の一つとなっている。家主のご好意により庭奥にある滝の水源を見せていただいた。エノキの根元から湧き出している。

深沙大王堂裏の湧水は一度西へ流れ、水車館のあたりから南東へ流れを変えるので逆川と言われている。この不動の滝の湧水も水生植物園を通り住宅街を流下し野川へと合流する。

入間・樹林の会

11/20(日) 定例活動日

参加者が5人でしたが12月の児童館との交流事業やお楽しみ会の打ち合わせ、来年度の予定として花図鑑の作成、植物調査などについても検討しました。コココーラ環境教育賞賞品の図書券1万円の使途として図鑑を購入することにしました。入間地域福祉センターにおきます。

樹林地での保全活動は、民家跡に埋められた大量のガラスが通路に表出してきたので安全のため除去しましたが、まだまだ土中に埋まっています。

落葉で今まで気がつかなかった木の個性がみえて、クヌギがひょろっと伸びているのもわかり、雑木林広場でクヌギを伐採し初めての萌芽更新に挑戦する案が出たのは収穫でした。マテバシイの広場では業者へ依頼する伐採木3本を検討。12/18のお楽しみ会でメンバーに諮ります。(安部)

紅葉するツタ



クサギの実



カニ山の会

11/20/8(土) 晴れ

参加者 11名。

会としてはじめて外部に向けて企画したイベント「屋根より高いツリークライミング」でしたが、残念ながら応募が無かったので、今回はメンバーとゲストでカニ山の会の懇親会を楽

振り縄の技



木漏れ日のカニ山



白玉も入れようね

親会を楽

しました。懇親会のメニューは、芋煮なべ・手作りナンのレンガ焼き・焼き芋・それに、「振り縄」の実演など、盛りだくさんでした。

前日は雨でしたが、メンバーが薪の準備をしていたのでかまどの炎も順調に燃えて木漏れ日のカニ山の秋を存分に楽しむことが出来ました。秋は行事が集中するため「ねこじゃらし」の会のみなさんとかまどの使用を共有しました。来月12/10は、笹刈りとシュロ・アオキの伐採、落葉溜め位置について話し合いを行います。(えさし)

環境モニター

11/5(土) 3ヶ月ぶりにワンド周辺の植物観察

参加者:市民6+事務局:2名 AM:植物標本の整理、オリジナル図鑑に載せる植物案の検討>50音順72種。人気投票と11月の話し合いで仮確定。基準:代表的な種類、多摩川らしい種類とする。

PM:定例フィールド活動:秋の植物の観察記録、オリジナル図鑑作成に向け植物の写真撮影をした。

水辺=ワンドが随分と浅くなり水は濁っていた。

*昆虫=ツマグロヒョウモン、イナゴ、ルリシジミ、ベニシジミ、スズグロシロチョウ、ナナホシテントウ、オンブバッタ /*鳥=モズ、トビ、ハシブトガラス、ハクセキレイ、カワセミ。/*植物=上流の方にはミゾコウジュ。ミゾコウジュが生えるような環境は、ほかにも面白い植物が見られるかもしれないとのことでした。

ワンド周辺での植物観察



調布 DE 田んぼ日記

おいしいお米の収穫祭がひらけました

今月の農作業として脱穀、籾摺り、精米などがありました。参加者の農家の方の畑で芋ほりもしました。

11/23(祝) 勤労感謝の日、毎年恒例一年の農作業をねぎらい、収穫を祝う「収穫祭」を行いました。今年も天気に恵まれ、大勢の参加者と無事、お祭りを終えることができました。今年も天候不順や機械整備の不備が続くなど、多少課題は残りましたが、締めくくりとしてはとてもよい一年を過ごせたと思います。収穫祭当日は料理や火起こし、餅つきと、みなさん積極的に作業に参加いただき、心強いばかりでした(特に女性陣)。今年のお米(お餅)の出来は大変よく、自分が食べた中では最上の出来だったのではないのでしょうか。去年と同じく収穫量は例年並か少々すくないくらいでしたが、収穫量と味は比例しないようです。収穫祭の終了は日の入り前だったのですが、最後は午後7時過ぎまで3家族も残って、火の番と後始末をお手伝いいただきました。その間は子供たちとの臨機応変なクイズ合戦。小学1年以下の子供たちでも、とても理解力や考察力があり驚きました。環境学習に自分が少しでも役に立てたかな、...、どうかな?。

12月は、3日に親子炭焼き体験、翌4日は来年に向けての最初の準備「堆肥作り」と卒業式です。これで今年の授業は終了です。一年のまとめの授業レポートを期待しています。(たんぼの学校 こんどう)

たんぼの学校 収穫祭



運営委員会

11月14日(月) 18:30~21:30 たづくり304

出席委員:6名(市民委員4+行政委員1+事務局2名) 司会:江刺懇談会5年目以降の活動展開の議論 2回目 崖線樹林の保全と活用について佐須・深大寺地区に絞って意見交換を行った。

神代農場の担保が必要。/水路・佐須用水の水源でもある神代農場を核として佐須・深大寺地区の保全を進めたい。

佐須深大寺地区の農地、農家、近隣住民への配慮と工夫
環境保全の一環としても田畑の担保が重要/民有地の環境の担保/農家の相続問題に対する工夫/市民と農家をつなぐ仕組みの工夫が必要/市民参加での環境保全=市民が現地の環境に関わるしくみをつくり市民の愛着を育てたい。/援農ボランティアの工夫/市民の関わりで生じる農家の負担は最小限に 佐須・深大寺地区をフィールドとした教育展開を/児童館地元の方やボランティアをまきこんだエコミュージアムを展開したい / 水と緑の複合的な視点で環境保全・佐須・深大寺地区から野川までフィールドを広く捉えて/湧水確保の設備を整えたい/ 都市計画と一体的に、景観の面からの環境保全 行政は複数の課で協力して取り組む体制を/農家の方への対応は産業振興室が担ってほしい/ 崖線緑地は市民参加で保全したい。

06年度の懇談会方針 佐須・深大寺の樹林保全を集中して扱う
工夫=次回から、佐須・深大寺地区の地図をA1サイズに拡大し、毎回情報を書き入れて情報収集と意識の共有を行う。

*調布市の自然環境を簡潔に記録したカルテを作成する。
緑地篇を作成し、水辺篇、湧水篇、生き物篇等を増やす。

*懇談会の事務局機能を市民が担う力をつける講座を行う。企画力・人に伝える力量UP・組織運営ノウハウ・ワークショップ技法など。

その他意見=(テ-タ-スつき)懇談会ホームページ立ち上げ・活動拠点の場所となるビジターセンターなどがどうしても必要だ。

06・2/11 実施の「全体会」準備。連絡会の意見を参考に議論。午前は映像シアターで鬼頭先生の講演、午後はみんなで「とことん討論会」をする。=事務局を中心に準備を進める。時間:10:00~16:00(予定)/2/5号市報に掲載する。

環境基本計画=パブリックコメントの段階で、ちょうふ環境市民懇談会運営会議や連絡会からの意見を出す。 **次回 12/12(月)**

活動グループ んららく会

11月17日(月) たづくり601 出席:6名/司会:安部/記録:鍛冶

全体会:全体会で展示する自然環境カルテ見本には土地の所有タイプ・用途地域が明記されていないので、入れてほしい。*とことん討論の場所は映像シアターでおこなえる。展示はみんなの広場で1週間。案内役を交代で置く **意見**:環境市民懇談会をもっと知ってもらうためにもあくるすなどに登録してはどうか。環境市民懇談会は会ではなく「場」なのだが登録できるのか。/一つのグループが複数の所に登録しなくてはならず困る。

活動グループ・情報交換 **環境モニター**=今回も地元の古いお宅を拝見し昔の様子を聞いたのは好評だった。 **人間樹林の会** 12/10に児童館の子供達が参加してリース作りを予定しているがツタが少ない。来春から全員ボランティア保険に加入してもらう予定 **カニ山の会**=P2参照 **若葉町第3緑地**=11+2名の参加。地元の方から昭和30年代の都道建設の話をつかぎ、今後の活動について話し合い。次回12/11は低木の伐採を予定している。 **凸凹山WS**=11/23看板作り。次回12/4はリース作り(雨天顺延)。 **ねこじゃらし**=11/12 午前は定例会、午後はカニ山で焼き芋の練習。菊野台での工作教室は盛況。12/25 実篤記念館でミニ門松づくり工作教室の指導をする。

次回:12/19(月)たづくり301 司会:尾辻、記録:小島

環境保全課の窓口

05年度雑木林塾

今年度の雑木林塾は、申し込み受講生19名で、9月29日にスタートしました。内容を初級講座にしぼり、情報提供と市内の樹林の見学を多く盛り込んでいます。調布の樹林管理に関わるのが初めてという方に、調布の樹林の現在の姿を知って頂き、実際の樹林保全の現場に足を踏み入れて頂きたいと考えています。連続講座は、11月13日で第3回が終了しました。(第1回:緑のうつりかわりから樹林の持つ意味を考える 第2回:調布の樹林の今の姿を見る 第3回:実践・樹林の生き物調査) 今後の講座では、市内の樹林の見学、雑木林と人々との暮らしの関わりを学び、最終回では受講のまとめとして、市民として樹林とどのようにつきあうか、考えて頂く予定です。

樹林の環境を保全していくポイントは、知識と意識と行動の力をバランスよく出すことです。受講生の皆さんには、その力を持ち寄る1人となって頂くことを期待しています。

樹林の保全活動はとても楽しいものです。講座では、保全活動が行われているフィールドや保全活動グループの活動日程を紹介しています。是非、楽しんで活動に顔を出してみてください。



カニ山での樹木調査

環境基本計画(案)にご意見を お寄せください

市民の皆様から幅広いご意見をいただき、計画に反映させるため、計画(案)の中間報告書を12月20日(火)より市役所案内所(2階)、神代出張所、市民プラザあくるす、各公民館・図書館・地域福祉センターで配布いたします。また市のホームページでも公開いたします。

ご意見は平成18年1月13日(金)までにお寄せください。お寄せいただいたご意見・ご提案は、環境基本計画策定の参考とさせていただきます。

[意見提出・問合せ先]

調布市小島町2-35-1

環境部環境保全課 81-7086・7087

:kankyou@w2.city.chofu.Tokyo.jp

市民参加の保全活動 & イベント案内

調布市環境モニター

12月3日(土) 10:00~15:00

場所：市役所3階環境部打ち合わせコーナー
内容：午前・標本整理、午後・定例フィールドについての勉強・オリジナル図鑑作成作業(原稿書きなど)12月はフィールドの観察なし。

メンバーはいつでも募集中!

カニ山の会

日時：12/10(土) 10:00~12:00

場所：深大寺自然広場入り口集合(野草園前)

内容：笹刈りなど雑木林の保全活動

原則第2土曜が活動日です。主にカニ山東樹林の保全活動と植物や樹木の調査を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。直接来訪も可
問合せ：環境保全課又はカニ山の会：小島までお願いします。 k2-kojima@khc.biglebe.ne.jp

人間・樹林の会

日時：12/18(日) 9:30~15:30

場所：入間地域福祉センター集合

内容：1年の振り返りとおたのしみ会

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方はぜひ環境保全課にお問合わせください。直接地域福祉センターに来訪も可です。

若葉町3丁目第3緑地-保全活動

日時：12/11(日) 10時~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

問い合わせ先：緑と公園課 0424-81-7083

はじまったばかりの活動です。ご参加下さい。

編集後記

湧水の周囲はすがすがしい。何としても残したいわがまち調布の資源です。東京都が保存地域に「崖線」を指定していますが、マンション建設など開発には無力に見えます。民間への届出で進められる建築確認制度は見直しが必要ではないかと思えます。インフルエンザに気をつけて里山を楽しんで! (編集当番：江刺益子)



野川クリーン作戦~中耕地橋・大橋付近

12/3(土) 10時~11時

国領小, 調和小の皆さんが参加されます

問合せ：環境保全課：81-7087

凸凹山公園(布田崖線緑地)ワークショップ

12/4(日) 10時~14:00 リースづくり

(雨天の場合12/11に順延)

集合場所：布田崖線緑地(下石原2-49)

問い合わせ先：緑と公園課 0424-81-7081

下記ブログに活動の様子が掲載されています。

[凸凹山公園ワークショップ\(布田崖線緑地を考える市民の会\)](http://blog.livedoor.jp/fgr/) <http://blog.livedoor.jp/fgr/>

入間樹林でクリスマス

日時：12/10(土) 9:30~12:30

場所：入間町1丁目樹林地

集合：入間地域福祉センター

内容：東部児童館との交流会 リースづくりほか。

地域のかたのご参加もお待ちしております。

環境市民懇談会- 運営委員会

日時：12/12(月) 18:30~20:30

場所：たづくり301

内容：2/11全体会(後援会+とことん討論)の内容
調布の自然環境について市民と行政で話し合っています。興味のある方はどなたでも傍聴歓迎です。

環境市民懇談会- れんらく会

日時：12/19(月) 18:30~20:30

場所：たづくり301

内容：*活動グループ情報交換/ *2/11の活動発表会・講演・「とことん討論 ちょうふの自然環境をこうしたい」の準備について、など。

市内で自然環境の保全活動しているグループ・個人の情報交換の場です。これから活動を始めてみたいと考えている方もどうぞご参加下さい。

発行：ちょうふ環境市民懇談会

連絡先：調布市環境保全課 tel 0424-81-7086

E-mail：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

調布市ホームページでカラー版がご覧いただけます

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、話し合いなどの活動をしています。ぜひご参加ください。